

FD関連講演会等実績（令和6年度実績）

国際総合科学群		①国際総合科学群FD・SD研修会	②研究推進部主催FD・SD研修会	③学術情報センター主催FD・SD研修会
	日 時	令和6年6月17日	令和6年6月21日	令和6年6月25日
	会 場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
	参加人数	33名	54名	51名
	講演テーマ	令和5年度学部長・共通教養長賞受賞者講演①	技術・データの流出防止に向けて —実際の具体的な手口やその対策—	研究成果のオープンアクセス化に取り組む —横浜市立大学機関リポジトリによる公開方法—
	講演者	国際教養学部 渡倉 知子 准教授、 理学部 鈴木 厚 教授	神奈川県警察本部 警備部 外事第一課	学術情報課学術情報担当 職員
		④国際総合科学群FD・SD研修会	⑤高等教育推進センター教育開発部門FD・SD研修会	⑥国際総合科学群FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催）
	日 時	令和6年6月27日	令和6年7月10日	令和6年8月7日
	会 場	オンライン開催	オンライン開催	対面開催
	参加人数	39名	27名	36名
	講演テーマ	令和5年度学部長・共通教養長賞講演②	本学におけるピアサポートの導入事例について	第1回学生参画型FD YCUワールドカフェ —横浜市立大学をより良くするために、 学生と先生で話し合おう—
	講演者	国際商学部 原 広司 准教授、 YCUリベラルアーツ入門ご担当者	グローバル推進室職員、チューターを経験した学生、 学術情報担当職員、スタッフを経験した学生	ファシリテーター 国際教養学部 滝田 祥子 教授
		⑦第1回教養ゼミFD・SD研修会	⑧高等教育推進センター教学IR部門FD・SD研修会	⑨高等教育推進センター教育開発部門FD・SD研修会
	日 時	令和6年8月8日	令和6年9月20日	令和6年9月25日
	会 場	オンライン開催	対面・オンラインのハイブリッド開催	オンライン開催
	参加人数	45名	30名	30名
	講演テーマ	本年度の教養ゼミの振り返りと学生の情報教育	学生アンケートの活用	サービスマーケティングについて
	講演者	本多 尚 共通教養長、土屋 隆裕 教授、 学術情報担当、 鞠 重鎮 教授、西海 洋志 准教授	データサイエンス研究科長・ 高等教育推進センター教学IR部門長 土屋 隆裕教授	国際教養学部 坪谷 美欧子 教授 横浜市立上飯田小学校教諭 菊池 聡先生
		⑩国際総合科学群FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催）	⑪バリアフリー支援室主催FD・SD研修会	⑫国際総合科学群FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催）
	日 時	令和6年11月7日	令和6年11月22日	令和6年11月29日
	会 場	対面開催	オンライン開催	オンライン開催
	参加人数	17名	22名	30名
	講演テーマ	第2回学生参画型FD 学生目線から授業とコミュニケーションの改善策をさぐる	合理的配慮と障害学生支援（実践編）	日本の大学における学生参画 —国内最大の学生自治組織「立命館学友会」の活動—
	講演者	ファシリテーター 国際教養学部 滝田 祥子 教授	バリアフリー支援室 飯塚 明雄 コーディネーター	立命館大学学友会 常任委員長 横尾 陽太氏（法学部4回生） 立命館大学 法学部事務室 安藤 正玄氏
		⑬国際総合科学群FD・SD研修会（国際商学部主催）	⑭2024年度ヨコハマ4大学FD連絡協議会	⑮国際総合科学群FD・SD研修会
	日 時	令和6年12月12日	令和6年12月21日	令和7年1月30日
	会 場	オンライン開催	関東学院大学 関内キャンパス	オンライン開催
	参加人数	35名	43名	32名
	講演テーマ	データ分析に基づく横浜市と横浜市大の連携—成果と課題	授業評価—意義ある実践とFDへの接続に向けて—	サバティカル終了後報告
	講演者	横浜市政策局データ経営課 担当課長/ 横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 ヘルステータサイエンス専攻 共同研究員 大山 崑平 様、 国際商学部 原 広司 准教授、根本 裕太郎 准教授	横浜市立大学・神奈川大学・関東学院大学・横浜国立大学 担当教職員及びび学生	理学部/生命医科学研究科 丸山 大輔 准教授
		⑯FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催）	⑰国際総合科学群FD・SD研修会	⑱国際総合科学群FD・SD研修会（理学部主催）
	日 時	令和7年1月31日	令和7年2月13日	令和7年2月20日
	会 場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
	参加人数	84名	40名	86名
	講演テーマ	新たな中教審答申「我が国の『知の総和』の向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～」と横浜市立大学	基幹教員制度導入と大学設置基準改正の解説	Teamsの活用方法について
	講演者	高等教育推進センター 菊池 芳明 学務准教授	株式会社高等教育総合研究所 主任研究員 坂田 弘 様	理学部 池上 貴久 教授、理学部長 佐藤 友美 教授
		⑲国際総合科学群FD・SD研修会（国際教養学部主催）	⑳第2回教養ゼミFD・SD研修会	㉑情報関連科目FD・SD研修会
	日 時	令和7年2月20日	令和7年3月13日	令和7年3月17日
	会 場	対面・オンラインのハイブリッド開催	対面・オンラインのハイブリッド開催	オンライン開催
	参加人数	53名	57名	22名
	講演テーマ	学ぶ意欲が湧く授業を学生目線から考える	新年度の教養ゼミの説明と議論	2024年度情報関連科目の総括と2025年度対応の検討
	講演者	国際教養学部 滝田 祥子 教授、 国際教養学部教養学系 多文化社会論ゼミ生有志	本多 尚 共通教養長、学術情報課担当者、 土屋 隆裕 教授	本多 尚 共通教養長、 坂口 利裕 情報教育委員会委員長

医 学 科 ・ 看 護 学 科		①海外臨床実習報告会	②医学会講演会/医学教育センターFD	③医学科・看護学科合同FD
	日 時	令和6年5月30日	令和6年7月30日	令和6年8月5日
	会 場	対面開催/録画配信	対面開催/録画配信	オンライン配信
	参加人数	(対面開催) 48名/(録画配信) 59名	(対面開催) 7名/(録画配信) 4名	43名
	講演テーマ	海外臨床実習報告会	医学教育におけるアクティブ・ラーニングのこれから	評価を学習者の味方に! 一実習における態度評価に焦点をあててー
	講演者	令和6年3月に海外臨床研修に参加した医学科6年生16名	関西医科大学医学教育センター 教授・センター長 西屋 克己	名古屋大学大学院 医学研究科総合医学教育センター 教授 錦織 宏
		④海外研究実習報告会	⑤医学教育推進部門FD	⑥医学国際セミナー/医学会講演会FD
	日 時	令和6年9月4日	令和6年10月9日	令和6年10月23日
	会 場	対面開催/録画配信	対面開催	対面開催
	参加人数	(対面開催) 27名/(録画配信) 41名	95名	27名
	講演テーマ	海外研究実習報告会	日本の医学研究・教育の現状と課題 ～働き方改革を超えて～	「新しい」時代における米国臨床研修・留学の意義
	講演者	令和6年3月～7月にかけて海外研究研修に参加した 医学科4年生8名	文部科学省 高等教育局 医学教育課 堀岡 伸彦企画官	米国ネモラス小児病院 心臓病センター循環器指導医 トーマスジェファソン大学 シドニー・キメル医科大学小児科 教授 津田 武
		⑦医学科FD	⑧医学教育推進部門FD	⑨看護学科FD
	日 時	令和6年12月14日～令和7年3月14日	令和6年12月～令和7年1月	令和7年2月3日
	会 場	録画配信	録画配信	対面開催
	参加人数	自由視聴のため不明	78名	44名
	講演テーマ	2024年10月PBL-Hawaii Style Workshop 参加報告	①医学教育におけるアクティブ・ラーニングのこれから ②評価を学習者の味方に ③「新しい」時代における米国臨床研修・留学の意義 ④医学科カリキュラムについて (2024年度版)	学生参加型授業改善プロジェクト 学生と教員でつくる未来 の授業
	講演者	医学部がん総合医科学 教授 窪田 賢輔	①関西医科大学 西屋 克己 ②名古屋大学 錦織 宏 ③米国ネモラス小児病院 津田武 ④医学教育学 福森正彦	-
		⑩医学群FD研修会		
	日 時	令和7年3月21日		
	会 場	オンライン配信		
	参加人数	8名		
	講演テーマ	なぜ医学部に教学IRが必要なのか ～大阪公立大学医学部IR室の実情を踏まえて～		
	講演者	大阪公立大学 総合医学教育 准教授 棚野 吉弘		